

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
青梅市教育目標

学校の教育目標
 ・努力（粘り強さ、やり抜く力）
 ・創造（主体的な学び、意欲）
 ・協調（自他を大切に、協力）
めざす生徒像（生きる力）
 ・知（確かな学力）
 ・徳（豊かな人間性）
 ・体（健やかな心と体）

**[青梅市学力向上5カ年計画]
育成すべき資質、能力**
 ・学びに向かう力、人間性等
（やる気）
 ・知識、技能（根気）
 ・思考力、判断力、表現力等
（考える）

めざす学校像

- ・確かな学力の定着と向上に努める学校
- ・豊かな心の育成に努める学校
- ・夢や希望をもち、よりよい社会を創る意欲を高める学校
- ・安全できれいな学校
- ・生徒、家庭、地域から信頼される学校

「確かな学力の定着」とは

- ・基礎的、基本的な学力の定着を図ること。
 - ・発展的学習を通じた深い学びにつなげること。
- を個に応じた指導を通して、自分の力となるよう身に付けさせること。

本校の現状

- 「全国学力学習状況調査」の結果、国語の正答率は72%と東京都並びに全国の正答率を2~3ポイント上回った。一方数学と理科の正答率は47%と東京都並びに全国の正答率を4~7ポイント下回った。また3教科とも「授業の内容がわかるか」の設問には肯定的意見が75~79ポイントと高いが、「好きか」の設問には理科以外は都や全国平均を15~20ポイント下回った。
- 生徒質問紙の回答では携帯電話等のICT機器の活用~時間が2時間以上の生徒が高い傾向にあった。一方1時間以上の学習をする生徒は約半数と都や全国を大きく下回った。
- 「児童生徒の学力向上を図るための調査」の結果では、学年が上がると肯定的意見が減少しているものが多く見られた。学習習慣についての設問で、1時間以上学習すると答えた生徒が約30ポイント、「計画を立てて学習している」が約56ポイントと都平均を10ポイント以上下回った。
- 学校での生徒アンケートでは「自分には良いところがある」との設問に肯定的な回答をした生徒が約85ポイント高かった。（一般的に自尊意識の高い生徒の方が、学習活動に対して前向きで、確かな学力の定着につながる傾向にある。）また「本を読むことができていない」との設問には肯定的回答が70ポイントあるが、全国調査の結果「読書を全くしない」と回答した生徒が約38ポイントと高く、学年が上がると読書をしなくなることがうかがえる。
- 個人差はあるが、課題への取り組みや指示されたことについては真面目に良く取り組んでいる。一方自主的に学習する機会を計画的に行うことには課題がある。また既習事項を用いて自分で新たな課題を見つけ調べ、まとめることについては積極的に取り組もうとする意欲にも課題が感じられる。

本校の課題

- ・基礎的、基本的な学力の定着につながる家庭学習を計画的に行うことに課題がある。「確かな学力の定着」に向けては、学校と家庭が連携することで家庭学習の定着を図ることが重要である。
- ・授業態度は良好で授業規律も保たれている。しかし、主体的に学ぼうとする意識や知識を活用する意識については課題があり、教師が意識的に学ぶ機会を設けるなど授業改善が重要である。
- ・継続的な読書活動においては個人差が激しく、生徒一人一人の関心度で大きな差ができています。
- ・物事に対して積極的に取り組めるよう、自尊意識の育成が必要である。

本校の学力向上に向けた取り組み

学びに向かう力、人間性等 （「やる気」の育成のために）

- ・個別最適化した学びに向け ICT を活用した授業に向けた機器の操作や教材開発を進める。
- ・「道徳」をはじめ、すべての教育活動を通して生徒の自尊感情の育成を図る。
- ・面談を通して生徒一人一人の課題を捉え、その改善に向けた手立てを一緒に考える。
- ・保護者会や面談を活用して家庭学習や読書活動の充実に向けて連携を図る。

知識、技能

（「根気」の育成のために）

- ・個に応じた学習の充実を図り、主体的な学びの向上を目指す。
- ・教科横断的学習についての意識を高め、生徒の学習を活用する力の伸長を図る。
- ・家庭学習に向けた課題設定を進める。
- ・放課後学習教室(ステップアップクラス)を生かして生徒一人一人の課題に適した指導助言をすることで学習意欲の向上を図る。

思考力、判断力、表現力等 （「考える」の育成のために）

- ・年3回以上の校長による授業観察、学力調査や学校評価、授業評価（アンケート）を通して、教師が生徒の課題を把握し、その改善に向けて授業改善に取り組む。
- ・GIGA スクール構想の下、生徒の興味、関心を高める授業や、既習知識を活用する授業を設け、個に応じた学習や主体的な学びにつなげていく。
- ・表現力の向上を目指し、各教科で発表する場面を授業に取り入れる。

中間評価(ここまでの取り組みと今後の課題)

今年度の振り返りと次年度への課題